

FUJITSU Software

SIMPLIA TF-MDPORT Pro (64bit) V81L20

マニュアル体系と読み方

Windows(64)

SIMPLIA-MDPWI64-01-JP81(03)
2024年3月

まえがき

このたびは、SIMPLIA TF-MDPORT Proをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、SIMPLIA TF-MDPORT Proのマニュアル体系と読み方について記述しています。

本書の目的

本製品の各マニュアルの目的・用途、主な記載内容について説明しています。

読むべきマニュアルや読む順序を知ることを目的としています。

本書の読者

SIMPLIA TF-MDPORT Proのマニュアルを初めて読む方を対象としています。

本書の構成

以下の構成で記述しています。

- ・ [第1章 マニュアル体系と読み方](#)

本製品のマニュアル体系と読み方について説明します。

- ・ [付録A 旧版とのマニュアル体系の対比](#)

旧版と本版とのマニュアル構成の違いについて説明します。

本書の表記について

本書では、説明するうえで、次の略記を使用しています。

「Windows(R) 11 Home」、 「Windows(R) 11 Pro」、 「Windows(R) 11 Enterprise」、または 「Windows(R) 11 Education」	→	「Windows 11」
「Windows(R) 10 Home」、 「Windows(R) 10 Pro」、 「Windows(R) 10 Enterprise」、または 「Windows(R) 10 Education」	→	「Windows 10」
「Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Datacenter」、 「Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Standard」、または 「Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Essentials」	→	「Windows Server 2022」
「Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Datacenter」、 「Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Standard」、または 「Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Essentials」	→	「Windows Server 2019」
「Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Datacenter」、 「Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Standard」、または 「Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Essentials」	→	「Windows Server 2016」

次の製品すべてを指す場合 Windows 11 Windows 10 Windows Server 2022 Windows Server 2019 Windows Server 2016	→	「Windows」
「Interstage Charset Manager Standard Edition Agent」	→	「Charset Manager」
「SIMPLIA TF-MDPORT Pro」、または 「SIMPLIA TF-MDPORT Pro (64bit)」	→	「MDPORT」

輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

登録商標について

本書で使われている登録商標および商標は、以下のとおりです。

- Microsoft、Windows、Windows Server、Microsoft Edge、その他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Excelは、米国Microsoft Corporationの製品です。
- そのほか、本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

なお、本文中では、™マーク、®マークは省略しています。

2024年3月

Copyright 1994-2024 FUJITSU LIMITED

目 次

第1章 マニュアル体系と読み方.....	1
付録A 旧版とのマニュアル体系の対比.....	3

第1章 マニュアル体系と読み方

本製品のマニュアル体系と読み方について、以下の表に記載します。

表1.1 マニュアル体系と読み方

目的・用途	マニュアル名称	記載内容	主な記載項目	読み方
読むべきマニュアルや読む順序を知る。	マニュアル体系と読み方(本書)	本製品の各マニュアルについて、目的・用途や読み方を記載しています。	<ul style="list-style-type: none">マニュアルの目的・用途マニュアルの読み方	初めて読む場合、目的に応じてどのマニュアルを読んだらよいか迷う場合に、お読みください。
製品のバージョンアップ、レベルアップの内容を知る。	リリース情報	バージョンアップまたはレベルアップした機能の内容を記載しています。	<ul style="list-style-type: none">追加機能の概要	旧版からのバージョンアップ内容またはレベルアップ内容を知りたい場合に、お読みください。
製品をインストール、アンインストールするために必要な知識を得る。	インストールガイド	製品のインストール手順およびインストール後の動作確認手順、およびアンインストール手順を記載しています。	<ul style="list-style-type: none">インストール手順アンインストール手順サンプルデータでの動作確認手順	製品のインストール方法またはアンインストール方法を知りたい場合に、お読みください。
製品を使用するために必要な知識を得る。	ユーザーズガイド 画面操作編	製品の概要、使い方、仕様を記載しています。	<ul style="list-style-type: none">製品の概要機能説明、操作説明、画面説明変換仕様注意事項使用例	製品を使用するために必要な情報を知りたい場合に、お読みください。
製品をコマンドで使用するために必要な知識を得る。	ユーザーズガイド コマンド編	コマンドの使用方法を記載しています。	<ul style="list-style-type: none">コマンドで製品を動作させる方法注意事項使用例	コマンドで製品を動作させる方法を知りたい場合に、お読みください。 変換仕様等については、「ユーザーズガイド 画面操作編」を併せてお読みください。
製品をAPIで使用するために必要な知識を得る。	ユーザーズガイド API編	APIの使用方法を記載しています。	<ul style="list-style-type: none">APIで製品を動作させる方法注意事項使用例	APIで製品を動作させる方法を知りたい場合に、お読みください。 変換仕様等については、「ユーザーズガイド 画面操作編」を併せてお読みください。

参照

ソフトウェア説明書について

上記以外に、製品にはソフトウェア説明書が付属されています。

ソフトウェア説明書は、製品の取り扱い、ご使用に際して特に注意すべき事項、参考となる情報等を記したものです。

製品のインストール前に、ソフトウェア説明書を必ずお読みください。

付録A 旧版とのマニュアル体系の対比

旧版と本版では、マニュアル体系が異なります。

旧版と本版とのマニュアル構成の違いについて、以下の表に記載します。

表A.1 旧版と本版とのマニュアル構成の違い

項番	旧版のマニュアル	本版のマニュアル	備考
1	(なし)	マニュアル体系と読み方(本書)	
2	(なし)	リリース情報	
3	(なし)	インストールガイド	インストール手順は、旧版ではソフトウェア説明書に記載していましたが、本版ではインストールガイドに記載し、説明を具体的な内容にしています。 また、インストール後のサンプルデータでの動作確認手順は、旧版では各ユーザーズガイドに記載していましたが、本版ではインストールガイドに記載しています。
4	ユーザーズガイド	ユーザーズガイド 画面操作編 ユーザーズガイド コマンド編	本版では、画面操作についての説明は、画面操作編に記載しています。 また、バッチ実行機能についての説明は、コマンド編に記載しています。
5	コマンド機能、コード変換/レコード変換機能 ユーザーズガイド	ユーザーズガイド コマンド編 ユーザーズガイド API編	本版では、コマンド機能についての説明は、コマンド編に記載しています。 また、コード変換/レコード変換機能については、本版では新形式のレコード変換機能として、API編に記載しています。
6	データ加工機能 ユーザーズガイド	ユーザーズガイド 画面操作編 ユーザーズガイド コマンド編	本版では、画面操作についての説明は、画面操作編に記載しています。 また、バッチ実行機能についての説明は、コマンド編に記載しています。